

『同僚を浴衣で落とす方法』

台本師 ギタ

※一人称、方言の改変あり。同性あり。その他要相談。

※●男性 ○女性

●浴衣着てくる女の子って、やっぱり可愛いよな。

○……え、なに急に。今仕事なんですよ。

●昼にすれ違ったカップル見たろ。

○あー……そういえばいたね。今日お祭りなんだっけ。

●彼氏の為に普段着慣れない浴衣を着てきてくれるんだぞ？めっちゃ可愛くね？

○そうねー。

●……お前今死ぬほど俺の話聞き流してるだろ。

○分かるー。

●……てめえ。

○ていうか、そんなことを同僚に言うなら彼女にお願いすればいいじゃない。今日残業とかないし、今からお願ひすれば十分間に合うでしょ。

●……振られた。

○え、なに？

●昨日振られた！……別に好きな男が出来たって。

○……あらあー……それはまあ……。

●今日のお祭り行こうって言おうとしたら、泣きながら電話がかかってきて、その人で行きたいんだと。

○それ確実にストックされてたわね。あと多分泣いてたのも嘘。

●傷口に塩塗るなよ！男の子の心は繊細なんだぞ！？

○うっさい喚くな。仕事して。

●あーあー……今頃彼氏がいる女の子はるるんで浴衣着て準備してんだろうなあ。

○そしてキモイ。あんまりそういうところ想像されるの嫌だ。

●お前さっきから酷くねえか……？

○だって気持ち悪い。

●はあ……そっちはどーよ？

○あと先方にメール送ったら、今日は終わり。

●おれもこれ保存したら終わりだけど、そうじゃねえ。今日のお祭り、行く相手は？

○居たらるるんで浴衣着て準備してますー。

●はあ……なんて悲しい……。

○ぶつとばされたい？……はあ、私だって、出来るなら浴衣着て花火見たかったわよ。

●よし、こうなりゃ花火だけでも見に行こーぜ。

○はあ？

●外で飲むビール。最高だろ。

○んー……いいけど、1回家帰らせて。

今日営業もあって外走り回ってるから汗流したいのよ。

●どーせまた汗かくんだからいいだろ？

○嫌。別にまるまるお風呂入るわけじゃないし、祭りの花火 8 時からでしょ。

今まだ 5 時よ？今から飲んだら、花火打ち上がる頃にはべろべろなの目に見えるわ。

●……正論で殴ってくる女、可愛くねえー…。

○なっ…悪かったわね可愛くなくて。そんな可愛くない女とお祭り行っても楽しくないでしょうから？行くならおひとりどうぞ。

●ごめんなさい。可愛くないは言いすぎました。お願いだから祭りで俺と華金ビール決めてください。1 時間半後に大会場所の最寄りでどっすか。

○ビール 1 杯分。

●……奢らせていただきます。

○よし。……うん、ちょうどいいとこまでやったし、6 時半に最寄りね。あんたも私服に着替えときなさいよ。

●うい、ほんじゃ後でな。

(人のざわめき)

●あちいー…。夜になってもこんなに暑いとか…。さすが夏…。もう少し涼しくなれよ、夏。

○あんた独り言でもそんなこと言うのやめなさいよ。

●うるせえな…。つか待ち合わせ時間におくれというこ…と…。

○…。…何よ。

●いや…。おま…。…その格好…。

○…。…だから何。

●…。…浴衣。

○…。…浴衣ですけど。

●…。…な、んで…？

○はあ…。あんたのそういうまじで鈍感なところ、まじで嫌。

●ちよつと待て。その浴衣姿からその毒舌は聞きたくない。

○…。あんた、退勤前に何て言った。

●へ？

○だから！退勤前に何て言った！？

●『彼氏の為に普段着慣れない浴衣を着てきてくれるんだぞ？めっちゃ可愛くね？』

●おま…え、？俺のこと好きなの…？

○…諦めてたわよ、あんた彼女いるし、死ぬほど惚気けてくるし。ていうか好きって気付いたの最近だったし。…でも振られたって聞いた上に花火大会誘われたら、…そりゃ、ちよつとは着慣れない浴衣くらい来ても許されるでしょ…。

●…っあゝ！！

○わ、なに！？急に大声出さないでよ！

●…俺、もしかしてもものすごく単純な男かもしれん。

○…単細胞？

●お前のカウンターがデカすぎんだよ。

○あら、効いちゃってる感じ？

●割とノックアウト寸前。

○それは…随分ちよろいね。

●うるせ。

○…ところで、そこでずっと座ってる訳だけど…。

…花火の前に、縁日行かないの？

●…はあ。行く。よっ。(立ち上がる)

○ビール1杯。忘れないでよ。

●わあーってるよ。

○あと、どう？浴衣な訳ですが。

●…その感想を言うには、酒が足りねえ。

○男らしくないなあ。

●…うるせ。